

関西ライフイノベーション戦略推進地域

関西ライフイノベーション戦略プロジェクト —持続可能な先進的創薬・医療技術開発拠点を目指して—

総合調整機関

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
〒560-0082
大阪府豊中市新千里東町1-4-2
TEL06-6873-2006

参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…大阪医薬品協会、大阪商工会議所、神戸商工会議所
- 学…**大阪大学**、**神戸大学**、**大阪市立大学**
- 官…大阪府、兵庫県、大阪市、神戸市
- 金…(株)池田泉州銀行、(株)三井住友銀行
- 他…(公財)千里ライフサイエンス振興財団、(公財)先端医療振興財団



プロジェクトディレクター
岸本 忠三

略歴：大阪大学医学部教授、医学部長、総長、内閣府総合科学技術会議議員等を歴任。現(公財)千里ライフサイエンス振興財団理事長。日本初の抗体医薬品の開発に成功。

関西地域の強みであるライフサイエンス関連の研究機関、医療機関、企業の高いポテンシャルを活用して地域が連携し、一体となって革新的な医薬品や医療機器・医療技術の開発に取り組む。これにより、がん・難病などの病気の克服や予防、QOLの向上に貢献するとともに、日本の成長エンジンの一翼として科学技術・産業の両面にわたり国際競争力を高めていく。

地域イノベーション戦略

関西地域が有するライフサイエンス分野の高いポテンシャル（研究機関の集積と基礎研究力、医療機関の集積と臨床研究力、製薬・医療機器などの産業力、高度研究拠点設備等）を活用した革新的医薬品や医療機器・医療技術の事業化ならびに再生医療や先制医療の実現化を目指し、ライフイノベーションの推進、科学技術・産業の両面にわたる総合性と国際競争力の強化により健康な長寿社会の実現に貢献する。本事業では、がん・難病治療薬、ワクチン、医療機器、再生医療の実用化・事業化に向けた研究開発の促進とイノベーションを実践できる人材の育成を中心に取り組んでいる。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：大阪大学・先端医療振興財団）

地域戦略構想で重点的に取り組むこととした、がん・難病治療薬、ワクチン、再生医療の分野において、地域外の大学・研究機関および地域内外の企業から8名の若手研究者を招へいし、アンメット・メディカル・ニーズを充足するための6つの研究課題（計8テーマ）に取り組み、事業化に向けた研究開発を加速させている。

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：大阪大学・神戸大学・大阪市立大学・先端医療振興財団）

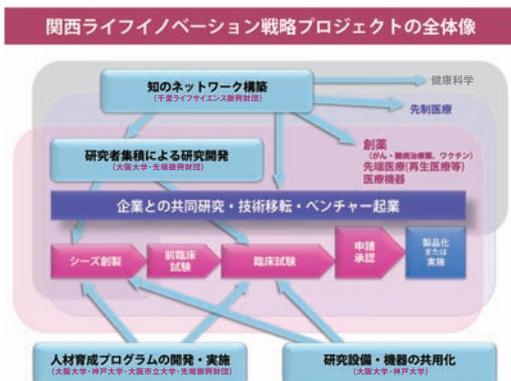
地域イノベーション戦略構想の実現に必要な人材像を「高度な専門知識を備え、研究成果をイノベーションへと実践する人材」と捉え、創薬や新規医療機器の開発を主体的に推進できる研究者や基礎研究を臨床に橋渡しできる指導的臨床研究家、イノベーションを実践しマネージメントできる人材等を育成するため、7つのプログラムを開発している。

3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：千里ライフサイエンス振興財団）

地域連携コーディネータを配置し、研究開発事業における研究進捗の管理、知的財産権の確立に向けた支援、研究成果の市場性調査、研究者と企業とのマッチング、企業間アライアンスや海外企業との連携の推進、ライフサイエンス企業ネットワーク構築等の活動により、有望シーズの発掘と事業化に向けた支援、産業・医療への「つなぎ」促進を図っている。

4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：大阪大学・神戸大学）

地域の企業・研究機関等に対し、創薬の初期プロセス（化合物スクリーニングから動物でのコンセプト検証まで）で使用する機器および最新の医療機器（消化器内視鏡システム等）を共用機器として開放し、オープンイノベーションによる創薬・医療機器開発を強化、支援している。



研究者集積による研究開発

研究課題	研究代表者	招へい研究者	事業化目標
1 新規作用機序による抗がん剤の開発	大阪大学医学系研究科 教授 菊池 肇	特任助教 辻本 賢子	がん転移抑制剤 (低分子、抗体)
2 自己免疫疾患の新規治療法の開発	大阪大学医学系研究科 教授 藤ノ藤 洋	特任助教 忠雄 重次郎	新規メカニズムの抗がん剤
3 中枢神経疾患に対する抗体治療薬の開発	大阪大学医学系研究科 教授 山下 俊英	特任助教 倉川 剛	自己免疫疾患抑制プロバイオティクス
4 アジバント研究開発	大阪大学医学系フロンティア研究センター 教授 石井 肇	特任准教授 黒田 悦史	自己免疫疾患治療薬
5 新規PET薬剤の合成法と品質管理法の研究開発	先端医療振興財団・先端医療センター 部門長 千田 暲雄	主任研究員 相田 一樹	新規アジュバント
6 脳卒中患者に対する再生医療開発	先端医療振興財団・先端医療センター 部長 田口 明彦	研究員 鈴木 晋浩	医療用相合成装置 (マイクロドージングによる創薬の効率化)
		研究員 鈴木 晋浩	細胞治療法 幹細胞分離デバイス